

# OB会報

## —湘南高校サッカー一部— 第2号

### OB会この一年

まり)の案内ハガキ送付。

8月20日

合宿中の現役との交流試合。若年OB中心に40名程の参加。現役はお正月の全国選手権県予選でベスト8に残ったので決勝トーナメントへ向けてハッスル中。OBも元気良く、30歳以上対現役一年生では4対1と楽勝。試合終了後はグラウンドでOB、現役が輪になり挨拶。夜のミーティングでは若手OBがひと言づつアドバイス。

12月末

会報第2号発行。(昨年に引き続き会報とは名ばかりのものになり、また、遅れましたこと深くお詫びいたします。)

6月初旬

現役が16年振りに関東大会出場を果たした案内状及び年会費納入状況等のお知らせを送付。

6月11日

現役の関東大会(対帝京高戦)が東京駒沢第2競技場で行われ、15安保氏、23小林氏等OB約30名が応援に参集。

8月上旬

現役との交流試合(OB夏の集

1月15日

蹴球祭・総会にOB60余名の参加。12時30分より、グラウンドで、OB対現役、OB対OBの試合が行われ16時近くまで楽しむ。OBの試合では、年齢を考慮した組分けに工夫が必要と感じる。

引き続き大教室にて、総会と懇親会が行われた。会長、事務局長を始め諸先輩のお話しや、現役諸君の紹介等交流を深めた。

3月27、29日

現役の静岡遠征に、45山口晴夫56水上雅樹(慶応)の両氏がコーチとして同行。雨中にもかかわらずグラウンドで熱心に指導。

4月3日

筑波大付属高校定期戦にてOB戦を行う。(湘南高グラウンド)

超OB戦(旧制東京高師付属中学OB対旧制湘南中学OB)では15内田康侍氏を中心にメンバー編

※46湯浅健二氏(ドイツ留学後、

サッカー指導書を翻訳。読売サッカークラブコーチ)が、今年より同クラブの二軍監督に就任。日本リーグ優勝の蔭の力となる。また新監督グーテンドルフ氏の通訳としても活躍中。

※54篠塚毅氏(筑波大)が本年の神奈川県高校教員採用試験に合格。今後、地元での指導が楽しみ。

# 現役の活動報告

OBの皆様方のご協力により、58年度は3月と6月に計35万円を現役に寄付することができました。例年通りほとんどがボール代になるわけですが、今年は新しくつくったユニフォーム代にも充当されました。鈴木先生以下現役諸君は諸先輩方の好意に感謝し、期待にこたえるべく日々努力しております。

- △現状及び年間スケジュール▽
1. 部員数 62名(3年17名、2年22名、1年23名)
  - Aチーム(鈴木指導) 27名
  - Bチーム(OBコーチ) 35名
2. 年間計画(57、11月、58、11月)

- ◎57、11、12月 強化練習。新人戦地区予選
- ◎1月 県新人戦中央大会(地区予選通過の64チームによる)
- ◎2、3月 冬期強化練習
- ◎3月末 静岡県フェスティバルに参加(10試合)
- ◎4月 筑波大付属定期戦。関東大会県予選(新人戦中央大会出場の64チームに

より行われ上位2チームが、6月上旬の本大会に出場)

- ◎6月中、下旬 夏の高校総体予選決勝リーグ戦。(先の64チームのうち関東大会出場の2チームを除く62チームをブロックに分け予選一次トーナメント。この上位2チームと関東大会出場の2チームの計4チームによるリーグ戦)
- ◎7月末 県強化研修大会(10試合。静岡、山梨等よりチームを招待)
- ◎8月上旬 お正月の全国高校選手権一次予選。参加校百七十五校。

- ◎8月中旬 夏期合宿
- ◎10、11月 全国高校選手権二次予選。(一次予選上位7チームと夏の高校総体出場チームの計8チームによる)
3. 試合結果
- 一〇六試合(61勝28敗17分)
- ◎新人戦中央大会 一回戦敗退
- ◎関東大会県予選 準優勝(本大会出場一回戦敗退)

- ◎高校総体予選 第4位
- ◎全国選手権県予選 第3位
- 練習 月・水・木 15時~17時 30分 土 13時30分~17時 火
- 金(試合期早朝練習) 日練習

## △主な試合結果▽

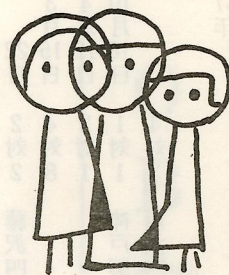
- 57、12月 北相研修大会
- 湘南 1対0 秦野高
- ” 2対1 小田原高
- ” 0対0 横浜市立東高
- ” 2対1 桐蔭学園
- ” 3対0 日大高
- ” 4対1 大和高
- ” 3対0 藤嶺藤沢
- 湘南 3対0 藤沢工高
- ” 0対0 清水水高
- ” 1対0 日大藤沢
- (新人戦中央大会出場)
- 58、1月15日 新人戦中央大会一回戦で、伊志田高に0対1と敗れる。
- 3月 静岡フェスティバル
- 湘南 1対0 上野高
- ” 1対0 仙台向山高
- ” 0対0 矢板東高
- ” 1対2 静岡高
- ” 1対0 静岡工高
- ” 1対1 水戸商高
- 4月 筑波大付属定期戦 7対0で勝利。
- △関東大会予選
- 湘南 1対0 鎌倉高
- ” 2対0 相模台工高
- ” 1対0 横浜市立南高
- ” 2対1 ” 東高
- の結果準優勝で6月の本大会出場。一回戦帝京高に敗れる。
- 6月 夏の高校総体県予選
- 4チームによる決勝リーグで、
- 0対1(東高) 2対3(鎌倉高)
- 1対1(相工大付属)の結果第4位に終わる。
- 7月 県強化研修大会
- 湘南 1対1 清水商高
- 4対0 清水工高
- 0対2 浜松北高
- 3対1 山梨選抜
- その他5試合。
- 8月 全国高校選手権一次予選
- 湘南 10対0 有馬高
- 5対1 桜ヶ丘高
- 2対0 神奈川工高
- 1対1 清水水高(PKで6対5と破りベスト8進出)
- 10月、11月 同準々・準決勝
- 湘南 4対1 希望ヶ丘高
- 1対2 鎌倉高
- 残念ながら全国出場ならず。現在新チームの新人戦中央大会(1月15日より)での活躍が期待される。

## ❖ 蹴球祭・総会のお知らせ ❖

1月15日(日) 於：湘南高校

12時～17時 12:30～15:30 試合(グラウンド)  
16:00～17:00 総会・懇親会  
(生徒玄関横大教室)

- ・当日午前中は、新人戦の県大会トーナメントが行われております。見学・ご声援下さい。(湘南高-日野高)
- ・総会・懇親会は、会長・事務局長挨拶、会計報告、皆様からのご意見等の後、現役・OBによる懇親会
- ・小雨決行。雨天の場合は12時30分より、総会・懇親会を1時間位と考慮しております。



### 58年度会計報告 (57.1.15～58.1.14)

収入	57年度繰越し	110,724円
	58年度会費(59・60年度分先払い及不明1人分含む119人)	600,000
	記念誌代	4,000
	銀行利息	2,582
		717,306円
支出	蹴球祭関係費(1月) (ボール代、飲食費)	46,169円
	安保氏返済(1月)	150,000
	現役寄付(3月)	200,000
	案内状印刷通信費(6月) (関東大会出場時)	38,420
	現役寄付(6月)	150,000
	案内ハガキ代及印刷費(8月)	24,500
	現役合宿差入れ(8月)	10,000
	会報印刷通信費(12月)	57,640
	雑費(謝礼、文具等)	8,960
	繰越金	31,617
		717,306円
59年度支出予定	安保氏返済	100,000円
	現役寄付	350,000
	通信・印刷費	120,000
	蹴球祭等会合費	50,000
		620,000円

### 〈お願い〉

- ・59年度会費納入の件  
58年度はOB皆様のご協力ありがとうございました。  
本年もご支援をよろしくお願い申し上げます。  
蹴球祭当日、受付けを致します。
- ・社会人 5000円  
・学生 3000円  
尚、欠席される方は、大変お手数ですが、下記口座までお振り込み下さるようお願いいたします。  
横浜銀行 本店 普通預金  
店番200 口座番号019166  
湘南高校サッカー部OB会  
代表 安保 隆文  
(電) 0467(22)1794

- ・住所等移動の件  
現在OB会では、56年作成の記念誌OB名簿をもとに活動、ご連絡いたしております。住所等変更された時は下記住所宛ご連絡いただければ幸いです。

〒247 横浜市戸塚区庄戸1の8の7  
相羽 克治

# 現役の活動報告

OBの皆様方のご協力により、

58年度は3月と6月に計35万円を現役に寄付することができました。

例年通りほとんどがボール代になるわけですが、今年は新しくつくったユニフォーム代にも充当されました。鈴木先生以下現役諸君は諸先輩方の好意に感謝し、期待にこたえるべく日々努力しております。

△現状及び年間スケジュール▽

1. 部員数 62名(3年17名、2

年22名、1年23名)

Aチーム(鈴木指導) 27名

Bチーム(OBコーチ) 35名

2. 年間計画(57、11月、58、11月)

◎57、11、12月 強化練習。新人戦地区予選

◎1月 県新人戦中央大会(地区予選通過の64チームによる)

◎2、3月 冬期強化練習

◎3月末 静岡県フェスティバルに参加(10試合)

◎4月 筑波大付属定期戦。

◎4月 関東大会県予選(新人戦中央大会出場の64チームに

より行われ上位2チームが、6月上旬の本大会に出場)

◎6月中、下旬 夏の高校総体予選決勝リーグ戦。(先の64チームのうち関東大会出場の2チームを除く62チームをブロックに分け予選一次トーナメント。この上位2チームと関東大会出場の2チームの計4チームによるリーグ戦)

◎7月末 県強化研修大会(10試合。静岡、山梨等よりチームを招待)

◎8月上旬 お正月の全国高校選手権一次予選。参加校百七十五校。

◎8月中旬 夏期合宿

◎10、11月 全国高校選手権二次予選。(一次予選上位7チームと夏の高校総体出場チームの計8チームによる)

3. 試合結果

一〇六試合(61勝28敗17分)

◎新人戦中央大会 一回戦敗退

◎関東大会県予選 準優勝(本大会出場一回戦敗退)

◎高校総体予選 第4位

◎全国選手権県予選 第3位

練習 月・水・木15時、17時

30分 土13時30分、17時 火

金(試合期早朝練習) 日練習

試合

△主な試合結果▽

57、12月 北相研修大会

湘南 1対0 秦野高

” 2対1 小田原高

” 0対0 横浜市立東高

” 2対1 桐蔭学園

” 3対0 日大高

” 4対1 大和高

” 3対0 藤嶺藤沢

” 3対0 藤沢工高

” 0対0 清水水高

” 1対0 日大藤沢

(新人戦中央大会出場)

58、1月15日 新人戦中央大会一回戦で、伊志田高に0対1と敗れる。

3月 静岡フェスティバル

湘南 1対0 上野高

” 1対0 仙台向山高

” 0対0 矢板東高

” 1対2 静岡高

” 1対0 静岡工高

” 1対1 水戸商高

4月 筑波大付属定期戦7対0で勝利。

関東大会予選

湘南 1対0 鎌倉高

2対0 相模台工高

1対0 横浜市立南高

2対1 ” 東高

の結果準優勝で6月の本大会出場。一回戦帝京高に敗れる。

6月 夏の高校総体県予選

4チームによる決勝リーグで、

0対1(東高) 2対3(鎌倉高)

1対1(相工大付属)の結果第4位に終わる。

7月 県強化研修大会

湘南 1対1 清水商高

4対0 清水工高

0対2 浜松北高

3対1 山梨選抜

その他5試合。

8月 全国高校選手権一次予選

湘南 10対0 有馬高

5対1 桜ヶ丘高

2対0 神奈川工高

1対1 清水水高(PK

で6対5と破りベスト8進出)

10月、11月 同準々・準決勝

湘南 4対1 希望ヶ丘高

1対2 鎌倉高

残念ながら全国出場ならず。現在

新チームの新人戦中央大会(1月

15日より)での活躍が期待される。

# 活躍するOBチーム

## ペガサス

昭和53年秋、30回生前後のOB5人が酒を飲みながら「今度は、サッカーをやる為に集まろう」と意気投合したのが発端になり、故岩淵先生の「大賛成」のもとにできたのが「湘南ペガサス」です。クラブ員は27年卒、39年卒の有志に宮原孝雄、鈴木中先生を加えた49名です。以前、若手OBで組織された「湘南クラブ」がありましたが、その活動状況が不明の現在では、湘南OBで構成された唯一のチームと言えます。年齢に合った相手チーム探しに始まり、グランド、選手の確保等、30松本好且氏、31大内健嗣氏、36井上孝氏を中心に、今まで60試合をこなしてきました。最近は、相手チームの若返り及び、人員確保等の為、新規参加者を募っているそうです。

いづれにしる、「湘南ペガサス」が、湘南サッカー部OB会の大きな支えになっていることに感謝いたします。

以下、今年度いづれかの会に参加した方のお名前と、56年〜58年迄の戦績を書かせていただきます。

### 〈お名前・敬称略〉

- 27小瀬村秀夫 田川明 出口孝治
- 山本修 栗原克夫 28近藤荘一
- 嶋田武夫 30岡田清治 川尻富次
- 郎 渡島九州夫 中原弘己 松本好且 八木一郎 31大内健嗣 田中啓元 長谷川晃一郎 32関根和衛 牛尾慶邦 33篠田亮 36井上孝 兼子盾夫 渋谷繁夫 関紀夫 田中道夫 久森茂男 丸屋喬 37小林弘治 38薬品行夫 41渡辺象次

### 〈戦績〉

- 56年
  - 1月25日 8対2 茅ヶ崎四十雀
  - 2月7日 1対8 藤沢四十雀
  - 2月22日 6対8 Y C A C
  - 3月15日 4対2 藤沢四十雀
  - 4月12日 2対1 " "
  - 10月18日 1対1 神戸製鋼
  - 4対3 藤沢四十雀
  - 他7試合
- 57年
  - 1月23日 2対6 Y C A C

- 2月14日 4対1 県サッカー協会
- 11月21日 6対2 茅ヶ崎四十雀
- 11月6日 3対7 Y C A C
- 12月28日 5対5 藤沢四十雀
- 12月19日 2対2 " "
- 3対2 荏原インフェルコ
- 58年
  - 1月30日 1対2 藤沢四十雀
  - 2月5日 2対5 Y C A C
  - 3月19日 勝利 古河電工OB
  - 11月5日 1対4 藤沢四十雀
  - 11月27日 2対3 小田原高OB
  - 12月18日 1対1 藤沢四十雀

## 編集後記

まことに不十分ではありますが、会報第2号をお届けいたします。今回こそはと思いつつ、生来のズボラな性格のため、発行が大変遅くなりましたこと深くお詫び申し上げます。今後、8月の現役合宿中に集まる案内状(年会費の納入状況報告等を含む)と12月の会報(蹴球祭の案内を兼ねて)の年2回は皆様にご連絡を続けていきたいと考えております。

55年の故岩淵先生の偲ぶ会以後

旧制OBの方々の絶大なお力で、湘南サッカー部OB会も体制を整えることができました。以来、3年半が経つわけですが、事務担当者として、会費徴収の件、蹴球祭、夏の集まり、また、今年は関東大会応援等あったわけですが、各々参加していただいたOBの方々に今ひとつ配慮が足りなかったのではと反省しております。そして、OB会を今後どの様に運営していくか、今一度検討する時期ではないかと考えます。以下、今まで感じたことを述べてさせていただきますので、1月15日の総会で、OB皆様のご意見をお聞かせ下さい。

- OB各世代間及びOBと現役との連帯感を今少し深めるにはどうしたらよいか。
  - 蹴球祭、総会、夏の集まり等具体的な内容、方法に工夫ができませんいだろうか。
  - 毎年10余名の新OB会員を向かえ、5年に一回位は名簿作成の必要があるのでは。
  - OB会をより充実させるには今一度OB会役員を各世代から選出し、定期的に会合を持ち、少しでも各世代間の話ができればと考えます。
- 蹴球祭に、多数のご参加をお待ちしております。